

東京都立武蔵高等学校

同窓会事務所

〒180-0023

武蔵野市境南町2-10-24

第二ときわビル2F

Tel & Fax 0422-53-5270



43

2008. 5.10



「花のかたち」F80 麻紙 岩絵具 本間 孝江 (昭和37年卒14回生F組)

今年のホームカミングディは20回生 & 9・10・11・12回生

今年の同窓会総会・懇親会

日 時: 6月1日(日)
受付開始12時30分 総会13時30分
場 所: 武蔵野スイングホール
(武蔵境駅北口より徒歩2分)
アトラクション: 上田 敏 ピアノコンサート
懇親会: 15時より レインボーサロン
会 費: 一般会員 2,000円
学生会員 1,000円
新卒会員 無料
出 欠: ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。

平成19年度卒業生同窓会幹事名簿



自由と規律の校風を母校の中高一貫教育に

同窓会会長 土屋 正忠



今春から母校が新しく、中高一貫校としてスタートした。都立武蔵高等学校は、一学年8組から5組へと3学級減り、新たに併設される付属中学校が、一学年3学級となる。長年愛唱された母校の校歌も基本的には変えず、最後の「武蔵高校」を「武蔵武蔵」にする。15歳人口の減少期を迎え、公立高校の復権、特色ある高校づくり、都立高校改革の実践といえる。

同窓会としては、一柳副会長などを中心に学校の要請に応じて意見を述べてきたが、改めて母校の力強い歩みに拍手を送りたい。

最近の母校は井田校長先生の下、教職員が力を合わせて前向きに取り組んでいる姿が印象的だ。昨冬12月には、箱根で1年生を対象にした宿泊セミナーを行うなど意欲ある取り組みが実施されている。同時に学力向上だけでなく、「自由と規律」という伝統の校風を引継いでいって欲しい。

高校時代は、自我が形成される大切な青春時代、揺れ動く生徒をしっかり受けとめると共に、可能性を信頼し、誇り高い「紳士・淑女」として育ててください。

母校の新しい出発を心からお祝しいたします。

総会アトラクション

上田敏 ピアノコンサート

曲目：ショパン作曲 「英雄ポロネーズ」 他



プロフィール

- 1968年 生まれ
- 1986年 都立武蔵高校卒業（38回生I組）
- 1991年 国際基督教大学人文学科哲学専攻卒業
- 1993年 ハンガリー国立リスト音楽院留学
- 1997年 帰国後、ソロ、室内楽など音楽活動を続ける
- 2000年 以降、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルで、世界的な名教師 フェレンツ・ラドシェからティーチング・アシスタントに任命されている。

自分の感性を大切に

6月1日の総会で演奏できる事をとても楽しみにしています。

武蔵高校時代は、音楽仲間や英語の植田先生と室内楽部を創り、指揮をしたりピアノを弾いたり、音楽三昧の日々でした。

国際基督教大学に進学してからは、友達と学内でコンサートを開くようになり、ますます音楽を通じて表現することが好きになって、音楽の道で食べていきたいと思うようになりました。

卒業後、幸運なことに様々な方のご尽力でハンガリーのリスト音楽院に留学する事ができたのですが、素晴らしい音楽家や仲間達と出会えたことは私にとって一生の宝です。

今現在は、留学の経験から得られたひとつの信念、「自分の感性に忠実に、好きなように弾く」という姿勢を大事にしながら、コンサートで演奏したり、ピアノを教えたり、相変わらず音楽中心の生活を楽しんでいます。

上田 敏

武蔵をよろしくお願い申し上げます

東京都立武蔵高等学校長 井田 良克



同窓生の皆様、今日は。日頃からの物心両面にわたります御支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。これからも引き続き、御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

昭和15年に東京府立第十三高等女学校として設立されて以来、68年の時を刻んで来ましたが武蔵は、自由と自律の伝統の下、文武両道の精神で常に時代の最先端の風を体一杯に受け、今も引き続き進化を続けております。自由と自律を大切にしつつも、状況の変化に対して常にしなやかで柔軟であり続けていることが武蔵の良き伝統だと、同窓生の皆様とお会いするたびに実感しております。その伝統の下、現役の武蔵生もしなやかに、元気はつらつとして、授業にも行事にも部活にもそして奉仕にも全力で取り組んでおります。

そんな今日も元気一杯の武蔵の近況をお伝えさせていただきます。

既に、皆様にお伝え致しておりました中高一貫校としての中学生の受け入れが、いよいよ平成20年4月に始まります。中学校の名称は東京都立武蔵高等学校附属中学校です。併設型の中高一貫校ですので、高校からの生徒募集も続いて参ります。学校規模は中学校が一学年3学級、高等学校は一学年5学級です。中学校と高等学校を併せて全体で24学級、生徒定数960名となります。24学級、生徒定数960名は現在の武蔵高校と同じです。

平成19年度の武蔵生の活躍場面を二つ紹介致します。

一つ目、陸上部の三年生の女子生徒が800m走で関東大会に出場しました。富士山を背景に六月の青空の下、山梨県の競技場で全力走行しました。二つ目、殆どの生徒が参加している部活動の成果を高齢者の施設や保育園、幼稚園、児童館などの地域で広めることを通した奉仕体験活動を武蔵生が生き生きと実施したことが評価され武蔵高校が東京都教育委員会から表彰されました。

武蔵では、今日も、心優しき挑戦者、生徒たちは文武両道で元気一杯です。

19年度同窓会総会報告

6月3日(日)、武蔵野スイングホールで武蔵高校同窓会19年度総会が開催されました。18年度事業・会計報告、19年度事業計画・予算が満場一致で可決された後、2年間の任期満了に伴う新役員選出についても、木下役員選出委員(13G)の報告どおりこれも満場一致で可決されました。今後2年間の役員体制は次のとおりです。



尚、次回の役員改選は21年度総会で行われます。

総会終了後には、シンガーソングライター

として根強いファンに支持を得ている、同窓生の中山ラビさんのミニ・コンサートが行われ、座席に収まりきれないほどの聴衆が詰めかけて、会場は熱気に包まれていました。

レインボーサロンに会場を移しての懇親会では、19回生、5・6・7・8回生のホームカミングデーも行われ、ホールの隅々にまで笑顔があふれていました。



クラス・同期会・クラブOB会だより

19回生ホームカミングデイ

19回生世話人一同

東京オリンピックの年に入学。卒業してから40年。AからIまでの9クラス。クラス会はそれぞれに行われていたようですが、横の繋がりはほとんどありませんでした。

19回生のホームカミングデイを、という話があり、昨年初春に世話人会ができました。最初の会合の様子は忘れられません。お互いにある人は覚えているような、いないような……その日の夜、会が終わって居酒屋にいてから



は、「会話とお酒」の量に比例して記憶を取り戻していきました。

同窓会総会当日は、19回生ホームカミングデイと引き続き行われた同期会に122人が参加されました。そこには、お世話になった先生を囲み、世話人たちが期待したとおりの楽

しい集まりがありました。そしてお開きの後、それぞれクラス毎の懇親会に……

素晴らしい再会のできた、このような機会を与えていただいた同窓会に感謝申し上げます。

参加された同期の皆様、残念ながら参加できなかった同期の皆様、今後さらに、19回生の仲間の輪を広げていきませんか……。

第7回「昭和30年卒」同期会開催

昨年11月10日（土）吉祥寺東急インホテルにて、2年ぶりの同期会を開きました。

前回は卒後50年という節目だったので、65人の出席を得ましたが、今回は44人と、人数は減ったものの、関塚先生、内藤先生、石沢先生、広瀬先生のご出席を得て、和気藹々とした同期会になったことに幹事一同深く感謝いたしております。

出席者全員が古稀を迎えているものの、皆さんの元気な姿をみていると、古稀という言葉はもはや死語なんだなあと感じております。

月並ですが、皆さん健康に留意され元気でまたお会いしましょう！



第8回生D組 古稀のクラス会

平成19年9月30日より一泊で、古稀のクラス会を開催しました。3年前に50年ぶりにクラス会が開かれてから、3回目は希望の多かった一泊旅行になりました。

当日の朝は雨でしたが、22名の参加者が東丹沢・七沢温泉に集合しました。担任の飯田敏江先生も、80歳を超えてもお元気で、私たちと一緒に参加してくださいました。夜は、

自慢のカラオケ、予定外のフラダンス等が飛び出すなか、和気藹々と歓談しました。翌日は宮ヶ瀬ダムを散策して、帰路につきました。



15Bクラス会の報告

還暦を迎えたクラス会より2年経ち、定年後もキャプテンとして活躍している山崎君のフェリーで、クラス会を是非に、との希望が、今回実現しました。

平成19年6月21日（木）、仙台港に10名が集合。山崎キャプテンの出迎えをうけて、フェリー人気投票2年連続1位という「きそ」に乗り込みました。乗船すぐの昼食、食後のロビーでの歓談と、時間の過ぎるのを忘れる程です。

夕食はキャプテンの計らいで、他のお客とはなれたコーナーで、 も一緒に楽しいディナーをとりました。その後、ショーやカラオケを楽しみました。

翌日は、日の出にあわせてブリッジに集合。初めてのブリッジで、レーダー、コンパス、双眼鏡など見るものが皆珍しく、制服姿のキャプテンの案内にも感激しました。

9時20分に名古屋港に入港、1泊2日の船旅はおわりました。ゆっくり話の出来た楽しいクラス会でした。



昭和36年卒業13回生D組忘年会

13D世話人一同

2007年12月1日（土）17時から参加者19名で恒例の忘年会を開催した。

忘年会に先立ち、13名は丁度学校説明会を開催していた母校を訪ねた。

12月というのに暖かく穏やかな気候に恵まれ、懐かしい通学路を散策しながら学校に向かう。正門前に安部経営計画課長のお出迎えを受け、校長室にお招きいただいた。

歴代校長の写真が飾ってある校長室で、井田校長自ら来年から始まる中高一貫校について説明をして下さり、まさか校長先生にお会い出来ると思っていたいなかった私達は大感激。執務机の前で記念撮影をした。

校長先生の言葉の端々に武蔵高校に対する熱い思いがにじみ出ていて、武蔵高校卒業生として誇らしく思った。



その後、 のご案内で校内を見学した。校内は総てに行き届いており、我々の頃とあまりの違いにビックリしつつ歩いていると、廊下の窓から真っ赤な夕日が見えさらに感動。

ただ、校歌にある“林を出でて林に入り”の風景が全くなくなっていたのは残念。

途中、在校生が近づいて来て昭和30年代の写真を見せてくれた。学生達の屈託の無い態度と上品な感じが更に我々の誇りをくすぐる（私達もあんなに感じ良かったのかなあ～）。

その後、校内見学出来なかった6名も加わり忘年会を開催した。

様々な山を乗り越え、地道に歳を重ねて前期高齢者の仲間入りをした今、ここに集えたことに感謝しつつ、美味しいお酒と料理に満足し、時間を忘れて語り合った。

別れ難い十数名は二次会場に席を移し、22時過ぎに解散した。

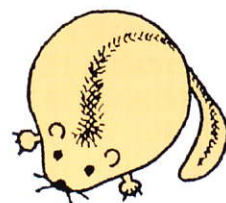
ご存じですか？

武蔵高校の山小屋（ヒュッテ）を！

長編小説などで有名な大菩薩峠の近くに、都立武蔵高校大菩薩ヒュッテは在ります。ヒュッテは、昭和31年に建てられ、50年余りの歴史を経て建物の老朽化も目立ちましたが、改修も順調に進み、すっかり快適になりました（ガス、水道、電気あり）。四季折々の移り変わりを楽しめします。5月落葉松の芽吹きに始まり、7～8月峠の花畑、10月紅葉そして冬の訪れ、11月に入ると、沢の水も凍り始め、ヒュッテも小屋じまいをします。

ヒュッテで使用する水は全て大菩薩の霊水（ミネラルウォーター）です。
お持ち帰りも自由です。

貴方も行ってみませんか！
仲の良い友達・クラス会・クラブ仲間等
皆様のご利用お待ちしております。



車でヒュッテ手前10分のところまで行けます。山岳部OBの小屋番が皆様を薪ストーブの煙と心安らぐ火でお迎えします。ゆったりした時間が流れます。



ヒュッテの夜空！

真夏のオリオン。
峠まで行くと東京の空も眺められます。



ヒュッテから夏の夜の富士山！

富士登山者の一人ひとりの懐中電灯が一本の線になり、下から上に伸びている。

※ヒュッテのご利用方法※

期 日：5月ゴールデンウィーク～11月第1週

原則：土曜日・日曜日または日帰り

時間：土曜日15時～日曜日12時

利用料：1000円

※ヒュッテの申込み・問い合わせは※



めぐる四季・だいぼさつ

参加しませんか！

ヒュッテ維持・管理

4月 ゴールデンウィークの利用に備え下旬に小屋開け作業を行います。ヒュッテ内外の清掃・補修。冬の間湿ったマットや毛布を春の日差しに広げます。水道の水出し作業 — 冬の間凍結しない様に出しておいたパイプを水源に戻し、配管の修理を行います。この時の水の冷たさを経験してみても？薪割り — 気分爽快ですヨ。

8月 薪運び — ヒュッテで使用する薪は、現地は国立公園内ですので、一切調達出来ませんので、各地でツテを頼りに入手し運び上げます。昨年は小淵沢から運びました。

屋根板の葺き替えも昨年のこの時期に実施しました。作業の後に、大菩薩の水でつめたく冷えたビールの味の格別さ...

11月中旬 黄葉も終わりの冬の訪れです。小屋閉めの作業を行います。内外の清掃・補修。昨年は集中的にヒュッテの周りで土の中に埋められていたビンや缶のゴミを収集しました。水抜き — 水源からパイプを外し、すべてのパイプの中から水を抜きます。そのままにしておくと湯沸かし器等が凍り破裂してしまいます。テラス補修・木材保護塗料塗装。煙突、ストーブ周りに、室内の煤払い。残り少なくなった薪を補充しておきましょう。etc。

普段、下界では働かない男達がよく働いています。女性達は、今夜のご馳走作りです。

以上が一年間の大まかなヒュッテ維持・管理の概要です。この他にも小屋当番の際に諸々の補修やら補充を実施しています。

募集 山岳部同窓会では、私達と、共に楽しく小屋管理・運営を進めるスタッフを同窓生の皆様の中から広く募集しております。自然の中での作業は、心地良いです。

山岳部同窓会事務局まで



屋根大改修 屋根板の葺き替え

冬に剥がれた屋根、錆び付き雨漏りが始まった屋根の改修を行いました。業者の方々と共に作業に加わり、相場半値位で屋根板の葺き替えが終了。これで毛布も濡れずに済みます。鮮やかな、青色の屋根が木立の中に映えています。



ゴミ収集 昔の忘れ物

この数年、周りの笹が枯れ始めて来ました。それと同時に昭和40年代頃(?)土の中に埋められたゴミが露出してきました。当時の環境問題意識を考えると、拾い集めました。軽トラック一台分ものビンや缶の収穫?でした。



3回生(昭和26年3月卒) 総会&同期会に参加を！

1948年、今から60年前に併設中学から新制の都立武蔵高校に進学した私たちも来年には喜寿を迎えます。3年前に吉祥寺で同期会を開催した後、恩師や友とのお別れもあって残念な限りですが、今回は表紙にある＜同窓会総会＞参加と組み合わせての同期会を企画しました。すでに別便で3期会としてのご案内もしておりますので、幹事への返信をお忘れなく。

3回生D組

11回生同期会 8月に開催！

前回の同期会から3年たち、仲間たちから「そろそろ又やりませんか？」という声が聞こえ始めました。そこで3月10日にクラス幹事が吉祥寺に集まり、下記のように今年の同期会を企画しました。近いうちにご案内状をお送りします。クラスメートに声をかけてお集まりください。

日時：2008年8月31日 13時30分より

場所：武蔵野レインボーサロン

11回生C組

ホームカミングディ「20回生(昭和43年卒業)集合！」

卒業から40年、武蔵境駅に降り立つと駅前様変わりしつつあります。同窓会が開かれる駅前の「武蔵野スイングホール」11階から、武蔵境の町並みが見渡せます。北側に、新しい校舎に変わった武蔵高校が見えます。でも高校へ向かう道筋は昔のままです。「林を出でて林に入り」とはいき

ませんが、あの濃密な3年間が浮かんできます。長かったようで短かったような40年を飛び越えて、あの頃にタイムスリップ。人生の後半にさしかかった今、後半戦の糧を得るために、集まりましょう。同期のみんなの参加を待っています。

世話人代表 20回生B組

進路一覽表 (平成20年3月31日現在)

国公立大学	現	浪	計	名古屋大学	0	0	0	明治大学	53	28	81				
				大阪大学 <td>0</td> <td>0</td> <td>0<td>立教大学<td>47</td><td>19</td><td>66</td></td></td>	0	0	0 <td>立教大学<td>47</td><td>19</td><td>66</td></td>	立教大学 <td>47</td> <td>19</td> <td>66</td>	47	19	66				
東京大学	1	3	4	九州大学	0	0	0 <td>法政大学</td> <td>26</td> <td>10</td> <td>36</td>	法政大学	26	10	36				
東京工業大学	2	1	3	首都大学東京	12	2	14	青山学院大学	9	5	14				
一橋大学	1	2	3	横浜市立大学	0	0	0 <td>東京理科大学</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>32</td>	東京理科大学	13	19	32				
京都大学	0	1	1	私立大学	現	浪	計	津田塾大学	7	0	7				
東京学芸大学	14	2	16					東京女子大学	18	2	20				
電気通信大学	1	0	1					早稲田大学	35	20	55	日本大学	14	11	25
東京外国語大学	4	0	4					慶応義塾大学	9	6	15	東洋大学	8	11	19
東京農工大学	4	6	10	上智大学	13	2	15	駒澤大学	10	8	18				
横浜国立大学	0	0	0	中央大学	34	9	43	専修大学	5	9	14				
千葉大学	2	0	2	大学合格者内訳											
埼玉大学	2	0	2												
筑波大学	2	1	3												
北海道大学	1	1	2												
東北大学	2	2	4												
新潟大学	0	1	1												

2007年10月に、銀座のみゆき画廊で個展をしました。表紙の絵はそのときに出した中の1枚です。高山植物で1メートルにもなるコバイケイソウ、後はチョウノスケソウ、クロユリ、ウスユキソウといった小さな花です。花々の情緒をある程度抽象的にリアルでなく表現しました。あまり気張らず、自分の描きたいよう、好きなように、色彩に酔ったりしながら製作して

いこうと思っています。し
気張らず、色彩に酔いながら



日本画家 本間孝江 さん

1965年卒17回F組
1970年東京芸術大学日本画卒
1969年より、毎日現代美術展・創画会
春季展・日本画院展出品
1971年より、グループ展・個展

かし、そうするとインパクトが足りなくなるようで、その辺が今後の課題です。

私たち17回F組の何人かはそれぞれの大学に行きながら月に一度集まって同人誌づくりなどしていましたが、その後つきあいはだんだん少なくなりました。ここへ来てまた月に一度の集まりをしています。個展をしたときは、F組のみなさんや、同期の方もきていただきました。

平成20年度 退職・転出入者名簿

卒業生23,435名 住所不明者及び物故者6,870名